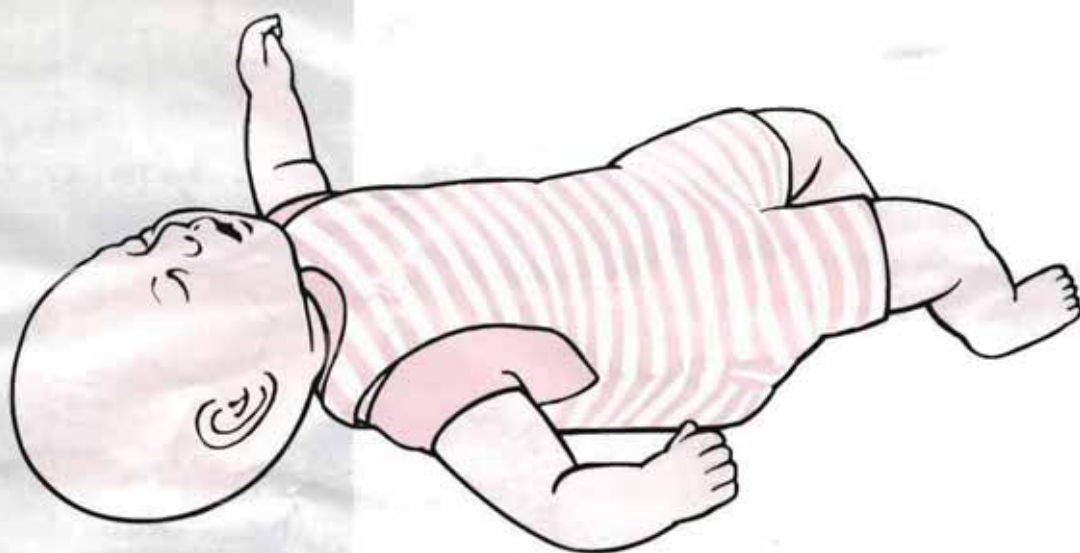


Baby Anne™

ベビー・アン 取扱説明書



Laerdal
helping save lives

目 次

保 証	2
サービス	2
概 説	3
開梱	3
収納	3
使用方法および保守	4
組立	4
異物除去訓練	4
衛生	5
部品表	6

保 証

レールダル メディカル ジャパン株式会社は、レールダル・ベビー・アンの材質および仕上げ上の欠陥に対して、ご購入後1年間の保証をいたします。保証期間中は、欠陥に対する修理・交換は無償で行います。

ただし、以下の場合にのみ製品の安全性、信頼性、性能に関して責任を持ちます。

- 当社あるいは当社の指定する者によって、サービス、交換、修理あるいは改造が行われた場合
- 製品が取扱説明書に従って、適切に使用された場合

この保証は、軽度あるいは経時的に生じる損傷、指定された者以外による修理・改造によって生じた損傷、あるいは事故、誤使用、濫用によって生じた損傷には適用されません。また、電池、ヒューズ、通常のすり切れや破れ、汚れ、変色、表面の凹凸等の性能に影響を及ぼさないものについては適用されません。

受領検査における不具合、保証またはサービスに関するお問い合わせは、レールダル メディカル ジャパン株式会社または代理店に御遠慮なくお申しつけ下さい。

サ ー ビ ス

乳児用CPRトレーナーであるベビー・アンは、丈夫で長持ちするように設計された交換可能ないくつかの主要部品から構成されています。交換用部品は、分解図と部品表によって識別することができます。

ベビー・アンは組立および分解が容易に行えるため、ユーザーによってすべての保守と部品の交換が行えます。

概 説



ベビー・アンは、小児のCPR(心肺蘇生)訓練プログラムを低コストで実施できるように設計されています。教室でより多くのマネキンを使用できるため、講習生がマネキンに実際に触れる機会が増し、これによって積極的な参加を期待することができます。

ベビー・アンは、教室あるいは家庭での訓練プログラムで、CPR手技を復習したい人々にとって最適の訓練用マネキンです。

ベビー・アンは、平均的な生理機能と解剖学的構造をもつ3ヵ月の乳児をシミュレートしており、心肺蘇生(CPR)の第1相である、基礎的救命処置(BLS)手技および気道閉塞の異物除去のリアルな訓練のために設計されています。

ベビー・アンは、効果的な訓練のために以下のような優れた特徴を持っています。

- 気道の自然な閉塞
- リアルな顔だちと動く顎
- 換気および胸部圧迫の人体と同様なコンプライアンス
- 換気による胸の上昇
- 胸部圧迫位置を確認できるリアルな形状
- 完全な乳児CPRプロトコルの実施を可能にする、窒息/異物による気道閉塞のシミュレート

開 梱

ベビー・アン1体パックは、以下のものから構成されています。

- a) ベビー・アン本体
- b) ベビー・アン用気道(ディスポーザブル) 6個
- c) パック(1体用)
- d) 取扱説明書
- e) 気道閉塞訓練用異物 10個

ベビー・アン4体パックには、パック(4体用)1個と取扱説明書1部、それ以外はマネキンごとに上記と同じ付属品がついています。



収 納

ディスポーザブル気道を取り付けたままで、マネキンを保管しないで下さい。気道チューブの長時間の閉塞は、変形の原因となります。

4体を収納する場合は、図のようにマネキンを配置して下さい。



使用方法および保守

組立

重要：ベビー・アンは、出荷時には、気道が取り付けられていません。ご使用前に、気道を取り付けて下さい。



1. 胸カバーを開きます。



2. フェースマスクを頭部の後ろにある2つの止め具から外します。



3. フェース・コネクタに気道チューブを押し込んで気道を取り付けます。肺とフェースマスクを直線的に揃えます。



4. 気道を取り付けたフェースマスクを再び取り付けます。顎部のピンを頭部の溝に挿入します。



5. 肺を胸のくぼみに配置します。気道チューブに折れや、曲がりがないようにします。胸カバーを閉じます。



異物除去訓練

ベビー・アンは、気道閉塞異物の除去訓練が行えます。適切な力で肺バッグを圧迫することによって、フェース・コネクタから訓練用異物が排出されるので、背部叩打および胸部圧迫法を訓練することができます。

重要：除去手技の実施中は、頭部後屈により気道を開放状態にしなければなりません。

除去手順の終了後、訓練用異物が口腔内に排出されていないか確認します。見つからない場合は、用指異物除去法で異物を排除します。確認後、用指異物除去法を実施しても、気道が閉塞されている場合は、手順を繰り返します。



“訓練用異物”の挿入方法

訓練用異物をフェース・コネクタの中へ、平らな面を上にして挿入します。

注意：異物を引っ張って変形させたり、無理に押し込んだりしないで下さい。

マネキンには、付属の訓練用異物以外は使用しないで下さい。他のものを使用すると、マネキンの寿命を短くしたり、正しい手技の訓練を実施できません。

注意：異物を子供の手の届くところに置かないで下さい。

訓練後

訓練用異物は、異物除去訓練後に廃棄して下さい。

衛生

講習中

講習生ごとに専用のマネキンを使用することをお勧めします。1体のベビー・アンを何人かの講習生が使用する場合は、講習生ごとに専用のフェースマスクおよび気道を準備します。どちらの場合も、講習後までクリーニングの必要はありません。講習中の各講習生は、自分のフェースマスクの着脱を行わなければなりません。

個人用フェース・マスクおよび気道の着脱

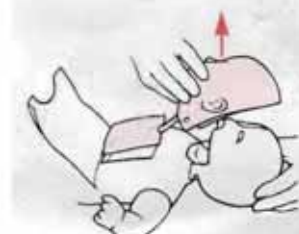
取外し方法



1. 胸カバーを開きます。



2. フェースマスクを頭部の後ろにある2つの止め具から外します。



3. フェースマスクおよび気道を持ち上げて外します。

取付け方法



1. 気道を取り付けたフェースマスクを、マネキンに取り付けます。



2. フェースマスクを止め具に固定します。



3. 肺を胸のくぼみに配置します。胸カバーを閉じます。

講習後

講習後に、使用済みのフェースマスクは廃棄またはクリーニングして再使用することができます。

注意：クリーニング中は、ゴム手袋*を着用して下さい。

1. フェース・マスクおよび気道を取り外します。
 - a. 胸カバーを開きます。
 - b. マネキン頭部の後ろにある止め具から、フェースマスクを外します。
 - c. フェースマスクおよび気道を持ち上げて外します。
 - d. 気道チューブをフェース・コネクタから外します。気道のみを廃棄し、他の部品は残します。

e. フェースマスクから、顎を取り外します。

f. フェースマスクからフェース・コネクタを取り外します。



2. フェースマスクおよびフェース・コネクタを、クリーニングして、消毒します。

- a. 温かい石鹼液で洗い、内側面の汚れを落とすため、強く擦ります。
- b. 石鹼分を除去するために、きれいな水ですすぎます。
- c. マネキンフェースを消毒します。消毒液として、1回の講習ごとに、500ppmの塩素（家庭用漂白剤を100倍に希釈）を含んだ次亜塩素酸ナトリウム液が推奨されます。部品を10分以上**消毒液に完全に沈めます。
- d. 消毒液を除去するために、きれいな水ですすぎます。

3. 部品を乾燥します。

4. 保管および輸送のためにベビー・アンを組み立てます。

- a. フェース・コネクタをフェースマスクに取り付けます。コネクタの出口が下方を向くようにします。



- b. 顎をフェースマスクに取り付けます。



- c. マネキン頭部にフェースマスクを取り付けます。顎のピンが頭部にある溝に入るようにします。

- d. 胸カバーを閉じます。

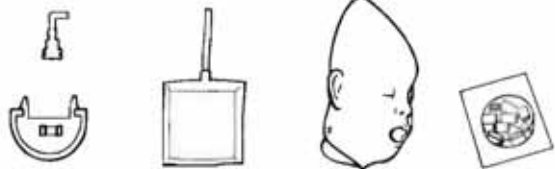
マネキン全体のクリーニング

マネキン全体の日常的な消毒は必要としませんが、頭部、胴体、オーバーオール、バッグの定期的なクリーニングをお勧めします。固いプラスチック部品は、温かい石鹼液で拭き、きれいな湿らせた布で拭き取ります。マネキン本体は、湿らせた布で必要なら中性洗剤を使用して拭き取して下さい。過剰な水分を使用すると、マネキン本体の内部に水分が入るので注意して下さい。オーバーオール（肋骨板付）は、手洗い、洗濯機あるいはクリーニング店で40℃以下で洗濯して下さい。乾燥機の使用は衣類の縮みの原因となります。

* ラテックス製の手袋はフェースマスク傷つけるので、ビニル製のものをご使用下さい。

** JAMA, AHA, CDC 推奨

05 05 00

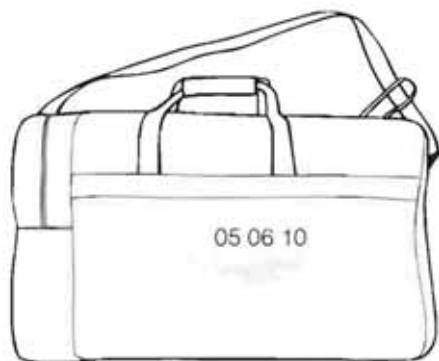
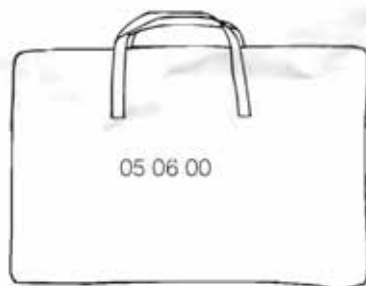


05 04 00

05 01 00

05 02 00

05 03 00



部 品 表

05 00 00 ベビー・アン1体バッグ(バッグ付)
05 00 10 ベビー・アン4体バッグ(バッグ付)

部 品

05 01 00 気道 24個入
05 02 00 フェースマスク(コネクタ付) 6個入
05 03 00 気道閉塞訓練用異物 10個入
05 04 00 顎
05 05 00 フェース・コネクタ
05 06 00 バッグ(1体用)
05 06 10 バッグ(4体用)
05 07 00 オーバーオール(肋骨板付)